

緑に染まった稲苗じゅうたん！

あさげ新聞



→一期待として四月十一日に初蒔きしたコシヒカリの苗も、ビニールハウスで順調に成長し、田植えの時期を待っています。

【四月の主な活動】

1. 稲作事業
・稲のめぐみ施肥／耕起
・初蒔き／育苗
・畦畔の草刈り／畔塗り
2. 園芸事業
【野菜栽培】
・各種野菜の種まき
（二期キュウリ／ダイコン／白菜
インゲン／チンゲン菜／春菊）
・ジャガイモ／里芋の植付
・畝づくり

- 【どうもろこし栽培】
- ・草刈り／畝づくり
 - ・二期三期分種まき（あんみつ姫三千四百粒、甘太郎四千八百粒、ホワイト二千粒）
 - ・一期、二期定植（あんみつ姫五千七百本、甘太郎六千本）
 - 3. 薬草事業
・畝づくり／播種／草刈り
 - 4. 加工事業
【味噌】
・個包装／出荷
 - 5. その他
・薪の販売（岳）
・わらび収穫／出荷
・たらの芽、シイタケ収穫出荷

地域共生推進室 発行
【43号】
2024年5月7日発行

ご意見・質問は下記の
メールまでどうぞお
寄せ下さい。採用され
た方には旬の野菜を
プレゼント！
mail ;
ta-hara@koaglobal.com

稲作事業

＜初蒔き＞

四月十一日、初蒔きが始まりました。作業は一連機で行います。肥料を含んだ、エースマットを苗箱に引き、苗箱を供給すると、水シャワーを浴び、設定数量の粉が投入され、覆土し表面を均します。

完成した苗箱は三十度の発芽機に三日程入り、ビニールハウスに移動し、田植えを時期を待ちます。

二期分は二十二日に蒔き、一期二期合わせコシヒカリ六百五十五枚、白毛餅百四枚を蒔きました。



＜畔塗り＞

代かきに向けて、水田では畦畔の草刈りと、畔塗りが急ピッチに行われています。



園芸事業

＜種蒔き＞

野菜も蒔き、定植が忙しくなってきました。ガルドン管理棟上A14の畑に二種類のダイコンを蒔き、その横の畝には、キタアカリ、メークインの種芋を植付しました。



【ダイコンの蒔き】



コテージ横のA18の畑にはインゲン、チンゲン菜、春菊の葉物野菜を蒔きました。



＜どうもろこし栽培＞

今年のどうもろこしは五期まで定植を予定しており、四月、二ヶ所の圃場で一期分の定植を行いました。



種蒔きの発芽率や苗の生育良く、定植に向けた、畝づくりの作業に追われています。

畝づくりが忙しい中で、高畝用に刃を逆回転したトラクターや、自走マルチャーが活躍しています。

【二期用畝を作るトラクター】



【自走マルチャー】



マルチの穴からの雑草による養分の分散や、除草の労力も考えて、実験的にマルチ穴に、もみ殻を撒いてみました。良ければ、三期、四期、五期の定植にも展開します。

【もみ殻で雑草対策実験】



薬草事業

薬草四回目の挑戦です。センブリは過去三回、さび病やシクラメンホコリダニに侵され、収穫できたのは一回のみの結果です。今年は比較的水はけの良い畑に蒔きをしました。



その他

＜山菜の出荷＞
野菜の出荷が未だ無いこの時期、少しでも売上を上げようと、メンバーの山からわらび、タラの芽を収穫し道の駅に出荷しています。あさげの山菜畑も連休には大量に出荷できそうです。



＜JGAP＞

二十二年、四月よりJGAP認証に向けた取り組みを、QCCグループ佐藤さんの絶大なご支援のもと、活動がスタートしました。

JGAP理解から始まり、現状把握、マニュアル、作業手順書作成、自己点検、内部監査、是正対応を繰り返して進め、二十四年四月の自己点検を以って全ての是正が完了しました。基準に沿った新倉庫、保管庫の建設が予算の関係で、延期になっていますが、管理は継続し、チームの活動は一旦終了しました。